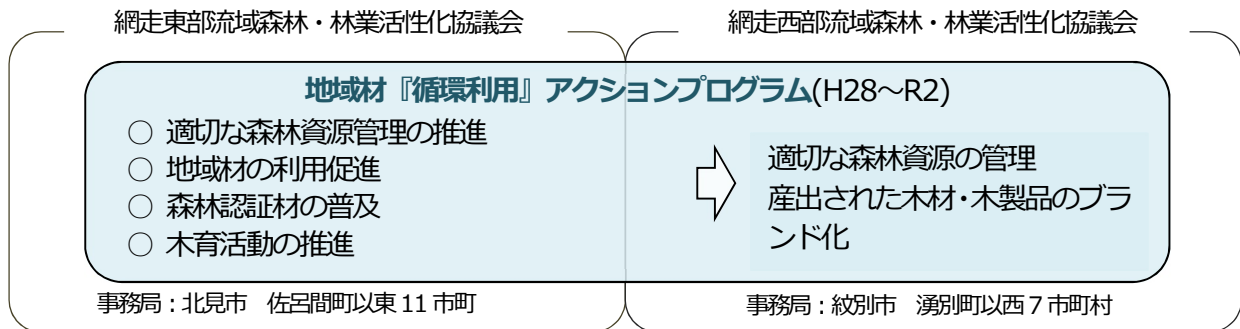
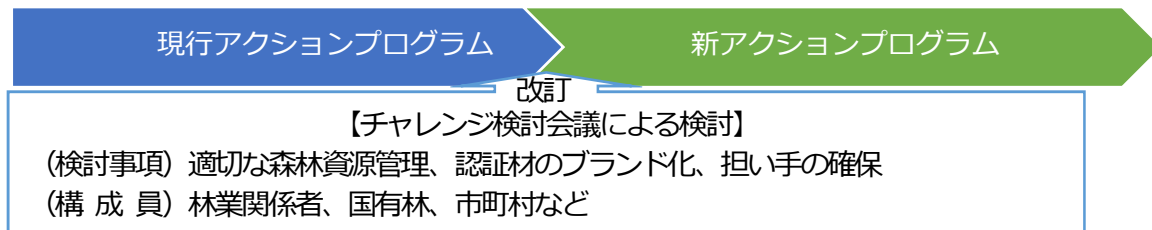


# 1 アクションプログラムの改訂概要

- 網走東部及び西部流域森林・林業活性化協議会（以下「協議会」という。）では、オホーツク地域における適切な森林資源の管理と地域材の利用促進に向けた行動である「地域材『循環利用』アクションプログラム」を平成28年度に策定し、各種取組を展開してきました。

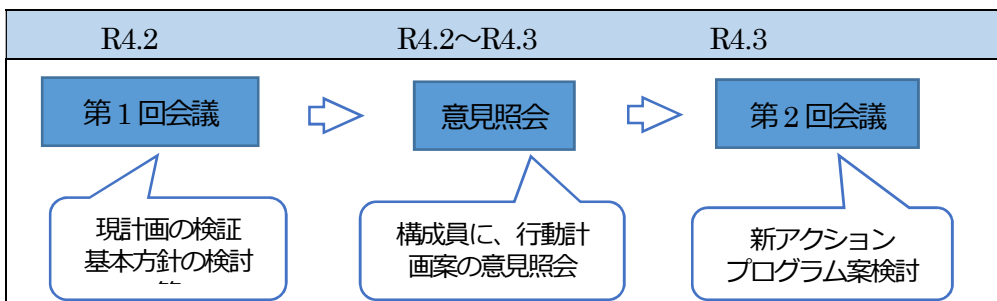


- 第3期計画最終年である令和2年度に検討会議を設置して、令和3年度からの計画を策定するところでしたが、コロナ禍に突入し、国内経済の低迷が進み林業・木材産業の先行きが不透明となったことから、収束の見通しが立たない中で新たな取組に向けた検討を十分行えないまま計画が終了しました。
- このため、本年度に検討会議を設置して改訂を進めることとしました。
- 協議会では、これまで進めてきた「森林資源の循環利用」を柱とし、SDGsや脱炭素、脱プラなどの動きを踏まえて、今後とも適切な森林資源の管理や木材・木製品のブランド化などの課題に対応するため、関係団体等の有識者の方々からご意見をうかがいながら、令和4年度を始期とする5年間のアクションプログラムを改訂しました。



## 改定の進め方

「チャレンジ検討会議」で基本方針や行動内容、実施手法等の検討を行い、アクションプログラムを改訂することとしました。



## 会議の構成員

「チャレンジ検討会議」の構成員は東部・西部流域両協議会の幹事会構成員としました。